

第31回 日本語スピーチコンテスト 「しゃべれおん'23」

10月21日（土）新宿文化センターで、第31回日本語スピーチコンテスト「しゃべれおん'23」が行われ、中国、モンゴル、ウズベキスタン、インド、ベトナム、韓国、ミャンマー、インドネシアの8カ国から16名の日本語学校の学生が出場しました。出場者たちは、様々な演題で、自分自身の視点を披露しました。

千駄ヶ谷付属日本語学校から尚瑋さんと張愛さんが出場し、それぞれ特別賞と参加賞を授与されました。

尚瑋さんの演題は「2番目の人生」、35歳という年齢で、中国での安定した生活を捨て、異国の地で全てゼロからスタートし、不安や困難を乗り越え、自分の目標に向かっていく様子を自信を持って語りました。

尚瑋さんからは「日本に来たばかりの時は、片言しかしゃべれなかったですが、今は日本語で自分の意見や考えを話せるようになり、今回スピーチコンテストにまで出場できてとても幸せです。私に丁寧に日本語を教えてくださいました先生方に感謝の気持ちで一杯です。これからも千駄ヶ谷付属日本語学校で学んだ貴重な知識を生かし、新しいことにチャレンジしていきたいです。」という感想がありました。

